

応用部会の活動報告

応用部会 部会長(東京都市大学)  
坊垣 和明



## 応用部会

### 1. 応用部会の目的と活動方針

応用部会の目的役割は次の2点に集約される。

各部会の検討のなかから出てくる成果を、より具体の技術や施策に展開するための取り組みを行う。

部会横断的なテーマをとりまとめて、集中的・効果的に推進する。

そのために、提案・抽出された課題毎に小委員会を構成して進めた。

### 2. 活動の概要

部会のもとに以下の5つの小委員会を設置して進めた。

#### (1) SAP小委員会(委員長:川瀬貴晴千葉大学大学院教授)

知的生産性評価のための主観評価票(SAP: Subjective Assessment of workplace Productivity)をWeb対応させて、インターネット上でデータ収集出来るシステムを構築し、公開する。本小委員会は、環境・設備部会の活動の一環として実施した。

#### (2) 学習環境小委員会(委員長:伊東一秀九州大学准教授)

学習環境が学習効率に与える影響の客観的、主観的な評価手法の標準化を目的として、様々な年齢層を対象とした介入調査を行った。

#### (3) CASBEE対応小委員会(委員長:伊香賀俊治慶応大学理工学部教授)

CASBEEに知的生産性評価の考え方を反映することを視野に、CASBEEの評価体系に合致した数値指標の開発、ならびに経済性評価手法等を検討した。本小委員会は、経済性評価と格付け部会の活動の一環として実施した。

#### (4) 医療環境小委員会(委員長:中山茂樹千葉大学大学院教授)

医療の生産性向上を目指し、医療環境の適正化を図ることをねらいとして、医療現場における建築・空間環境と医療作業性の関連等の把握を目的とする。具体の医療現場(ICU等)での調査を実施し、治癒的環境づくりのための検討を行った。

#### (5) フリーアドレスオフィス調査小委員会(委員長:宗本順三岡山理科大学教授)

フリーアドレスオフィスにおけるワーカーの行動調査等を行い、知的生産活動とフリーアドレスオフィスの関係性を明らかにすることを目的とし、各種オフィスでの行動調査を行い空間特性データを取得した。本小委員会は、建築空間部会の活動の一環として実施した。

上記のうち、学習小委員会、CASBEE対応小委員会は初年度より実施し、残る3小委員会は21年度から発足した。

|                          | 2007            | 2008                 | 2009                      | 2010(年度) |
|--------------------------|-----------------|----------------------|---------------------------|----------|
| (1)<br>SAP小委員会           |                 | SAPシステムの検討・構築        | SAP2009WEB版の完成・公開         |          |
| (2)<br>学習環境小委員会          | 資格試験対策予備校での介入調査 | 高専での介入調査             | エコスクールでの介入調査              |          |
| (3)<br>CASBEE対応少委員会      | 実オフィス・学校での影響調査  | 実オフィスでの影響調査          | 維持管理の影響、CASBEE への具体的対応の検討 |          |
| (4)<br>医療環境小委員会          |                 | ICUにおける調査・検討         | 治癒的環境づくりのための検討            |          |
| (5)<br>フリーアドレスオフィス調査小委員会 |                 | フリーアドレスオフィス等における行動調査 | 行動調査(継続)とそれに基づく空間特性データ    |          |

## 応用部会の活動（2007～2009年度）

注：黄色矢印は継続を検討中